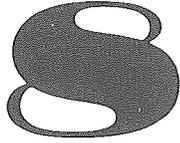


SHIRAKOBATO

# しらこぼと

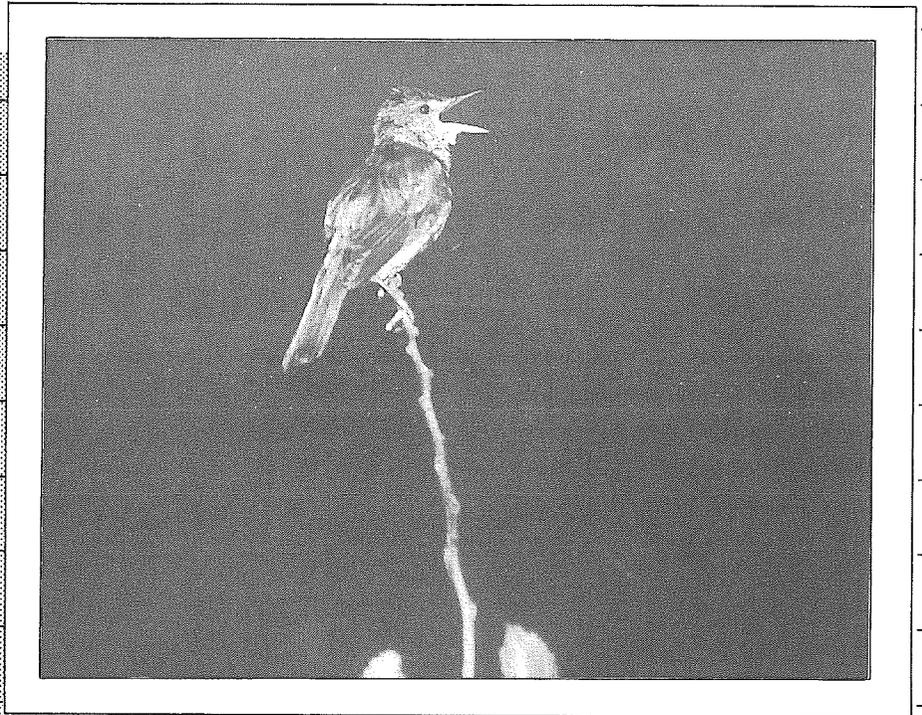


1989.



SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 63

日本野鳥の会 埼玉県支部

## 支部長交替・会費値上げは見送り

6月25日、来賓として山崎唯司本部企画事業部長の出席を得て、総合司会・福井恒人、議長・森本國夫、書記・北川慎一、議事録署名人・林滋、横山みどりの担当で、総会が開かれました。

### 支部長交替と新役員

総会とその直後の役員会において、平成元年度の役員が次のとおり決まりました。

顧問 今井昌彦(熊谷市)・田村照治(寄居町)・堀越照雄(熊谷市)

支部長 鈴木忠雄(熊谷市)

副支部長 松井昭吾(大宮市)・海老原美夫(浦和市)

幹事 新井清子(寄居町)・榎本秀和(鴻巣市)・岡安征也(北本市)・小淵健二(深谷市)・北川慎一(本庄市)・草間和子(浦和市)・黒田佳子(新座市)・小荷田行男(浦和市)・杉本秀樹(杉並区)・諏訪隆久(熊谷市)・手塚正義(川口市)・登坂久雄(八王子市)・中島康夫(蓮田市)・乗田実(上尾市)・林 滋(美里町)・福井恒人(浦和市)・藤原寛治(志木市)・町田好一郎(本庄市)・森本國夫(大宮市)・山部直喜(越谷市)・横山みどり(相模原市)・渡辺周司(浦和市)

監事 石川敏男(春日部市)・楠見邦博(浦和市)

支部発足以来5年間幹事として活躍された長谷きみ子さん(富士見市)は退任されました。たいへんど苦労さまでした。

### 新支部長就任のご挨拶

この度、今井支部長の辞任にともない、皆様のご推挙により支部長に就任いたしました。時あたかも平成元年。心を新たにして、自然保護運動の一翼を担う支部のために、微力を尽したいと思っております。

お蔭様で、支部は順調に発展の一途をたどっていますが、更により一層、探鳥会を、楽しい、誰でも気楽に参加できる、感じの良いものにしたいと思っております。幸いにも、当支部には指導力のある立派なリーダーの方々がおられますので、意を強くしている次第です。



鈴木新支部長は鈴木胃腸医院の院長先生

どうぞ皆さん支部のために頑張ってください。皆さんあっての支部であり、皆さん一人一人の支部です。皆さんのお力におすがりして支部長の任を果たせたらと思います。

最後に、支部設立以来現在に至るまでの今井前支部長、田村前副支部長、堀越前監事、その他の方々のご苦勞に対し、深甚なる敬意を表します。3名の方々には、今後も顧問としてのご指導をお願いします。

皆さんのご健康をお祈りするとともに、おおいに探鳥を楽しんでくださるようお願いしまして、就任のご挨拶とします。

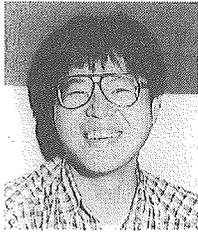
鈴木忠雄

### 新役員紹介



手塚正義(川口市)

三室の探鳥会で活躍中だが、差間での探鳥会も意欲的に計画。新役員中最年少20代の若さが期待されます。



**登坂久雄（八王子市）**  
勤務先の関係（鳥を見る都合ではないと本人は言う）で今は八王子に居を構えています。もともとは戸田に住む埼玉人。



**町田好一郎（本庄市）**  
利根川河原に巣くう山賊（川賊）ではありません。心やさしい鳥見人です。クロツラヘラサギ以来野鳥に魅せられ、もう重症です。

**今年度は会費を値上げしません**

6月号「総会のお知らせ」では、会費値上げを議案として提出する予定でしたが、今回は見送られることとなりました。

新事務所を開設した時点での試算では、今年度には会費値上げをしなければ、支部会計の維持が難しい状態にありましたので、そのことを総会でご検討いただく予定でいたわけです。

その後63年度の決算を経て、今年度の予算を編成してみましたところ、意外にも、会費を値上げしなくても、何とか予算を立てることがわかりました。

新事務所の備品などについて、予想以上の多くのご寄付をいただいたこと、事業部を中心とする増収作戦や役員たちの経営努力が効を奏したことにくわえ、保護のつどい関連の委託事業費や県からの補助金収入などもその原因と思われる。

はっきり言って、来年のことはわかりません。しかし、少なくとも今年度値上げしなくても予算編成ができるのなら、値上げは見送るべきだという役員会の判断で、会費値上げの議案提出はしなかったわけです。

もちろん来年も値上げしなすむように、役員会としても努力を続けますが、もしどうしても必要なときは、また来年の総会でご検討願うかもしれません。

**昭和63年度決算額と平成元年度予算額**

**【収入の部】**

項 目	63年決算額	元年予算額
期首繰越金	2,105,126	2,587,433
期首繰越在庫品	84,269	242,671
会費収入	1,660,330	1,876,200
寄付金収入	291,435	250,000
探鳥会等参加費	216,418	220,000
指導謝礼金	93,680	100,000
雑収入	172,673	100,000
委託事業費	300,000	620,000
補助金	0	200,000
仮払精算金	45,850	0
事業部売上金額	2,652,818	1,000,000
期末棚卸高	242,671	240,000
合 計	7,865,270	7,436,304

**【支出の部】**

項 目	63年決算額	元年予算額
什器備品費	120,288	400,000
消耗品費	37,403	42,000
支部報印刷費	782,000	1,000,000
支部報送料	440,320	500,000
印刷コピー代	190,850	216,000
通信費	143,650	162,000
交際接待費	7,400	30,000
雑費	175,540	198,000
家賃	700,000	840,000
水道光熱費	8,151	60,000
委託事業実施費用	0	620,000
総務部費用	39,838	45,000
普及部費用	84,050	155,000
編集部費用	28,550	32,000
研究部費用	32,190	36,000
事業部費用	9,770	11,000
事業部仕入額	2,143,497	800,000
期首棚卸高	84,269	242,671
仮払金繰越分	7,400	0
繰越金	2,587,433	1,806,633
繰越在庫品	242,671	240,000
合 計	7,865,270	7,436,304

**63年度中は**

年度末会員数	1,000人
会員増加率	15.6%
探鳥会の回数	74回 月平均6.2回
探鳥会参加者数	合計2,927人

# 会員の声

## シジュウカラの子育て

三田長久 (狭山市)

野鳥の会の本を図書館にリクエストすると次の利点があります。①お金が減らない。②野鳥の会の売上が増す。③読後、他の人の目にふれて鳥好きがふえる。というわけでStrixを狭山市の図書館に買ってもらって読んだ結果、研究報告？をしたくなり次の文をしたためました。

わが家の巣箱のシジュウカラの子育てについて報告します。2月に巣箱を作り、入口の穴の直径を28mmにしておいたところ4月始めにはシジュウカラが巣材を持って出入りを始めました。5月4日にはヒナがかえったらしくて、エサを運び込み、フンを運び出していました。この観察結果を7日と14日の分を併せて表に示しました。最初ヒナが孵ったばかりのころはやはり食事の量もフンも少ないということがわかんと思います。また、エサは青虫、蛾、それに木の芽もありました。この後、15日～19日の間に巣立ったもようです。

現在、単身赴任中で平日は家にいないため、中途半端な観察ですが、子育ての苦労はよくわかりました。なお、後で巣箱を覗いてみると、コケとわが家の犬の毛がいっぱい入っており、フワフワしてとっても気持ちよさそうでした。

表 シジュウカラの餌と糞運びの回数(1時間当りの平均値)

月日	観察時間	餌	糞
5/4	14～15時	7	3
5/7	12～17時	22	7
5/14	16～17時	16	8



(左より チーフ諏訪、キャプテンみどり、風邪pa l 佳子、きゃびドルタ香子、おすまし真理ちゃんデ～ス。)

## 白幡沼だより

海老原美夫 (浦和市)

ついてない日というのはあるものです。

朝、自転車に乗ろうとしたら、パンクしているのです。空気を入れてみたら、何とか事務所まではもつようなので、念のため空気入れ持参で出発しました。

それでもやはりカワセミの様子を見に、白幡沼に寄ってみました。するとなんと、カワセミの巣穴からは蛇がのぞいているではありませんか。

浦和駅と武蔵浦和駅の間、マンション・学校・住宅に囲まれたなかでのカワセミの繁殖確認と、何日も楽しみに観察し続けていたのが、その瞬間にパー。

その日は夕方にわか雨にも降られるというおまけつきでした。

まあ、白幡沼周辺には、まだそれだけの自然が残されているという証明でもあるでしょう。

シジュウカラの親子の一群れが、遊歩道ぞいの木でにぎやかに枝渡りしていますし、マコモの陰では、パンがクルクルッと雛鳥を呼んでいます。

いつもは2～3日しか居着かないオオヨシキリも、今年は伴侶に恵まれて2羽で巣材を運んでいるのが観察されましたし、今でも学校のグラウンドのネットのてっぺんというお得のソングポストで歌い続けています。

あなたのフィールドはいかがですか。お便りください。

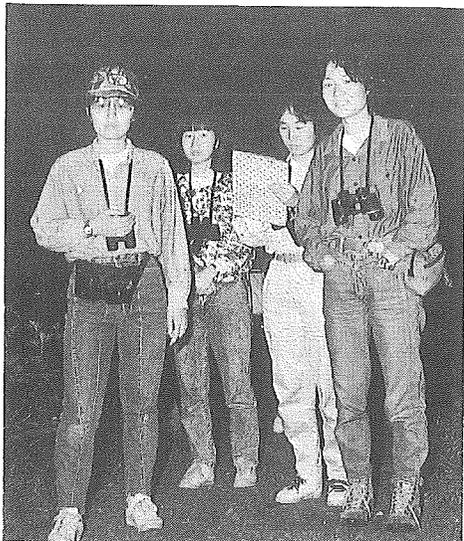
私の初恋  
浅田徳次（白岡町）

良く晴れた5月か6月頃だったと思います。兄家族と尾瀬に行った時です。

尾瀬ヶ原の入口に立って、空のイワツバメの数の多さにおどろいたものです。朝霧の尾瀬ヶ原の周りは、新緑の木々がかすんで見え、まるですみ絵の世界に入り込んでしまった様でした。20数年前の尾瀬は、登って来る人もちらほらでした。歩道には丸太が敷いてあり、材料の丸太も輸送中でした。周りは、たくさん鳥の声。当時わかるのは、ウグイスとカッコウだけでした。カッコウの姿を見たのもその時が初めてでした。

そしてなによりも感激したのは、帰りぎわ、林の中を歩いているとほんの数歩前の木に、アカゲラが飛んで来てとまり、垂直にヒョン、ヒョン、ヒョンと登っていく姿を見て、なんて可愛いんだろうと思いました。絵でしか見られないものと思っていたものが、もう間近で生きた姿が見られ、私に近づいて来てくれたものと思い、すっかり一目ぼれでした。それ以来、鳥をこよなく愛する文化人になった一人です。私の初恋は、アカゲラ（たぶんおの幼鳥）です。

今年も冬鳥調査が終わり、私のフィールドでアカゲラ確認、また一年間楽しく過ごせそうです。



(朝まだきの暗やみに浮かぶ〇〇4人)

埼玉県支部のみなさん、こんにちは  
下田 宏（寝屋川市）

浪速の地に赴任いたしまして、はや半年になりました。

大阪弁に慣れたころ、大阪支部に早速入会させていただき、定例探鳥会にも参加し、珍鳥は何処と野山を歩きまわっております。

先日は、大阪府の最高峰金剛山の探鳥会で、キビタキ、オオルリ、アオゲラの美しい姿を堪能いたしました。

ミソサザイが神社の軒先に巣を作り、子育てをしていることにはびっくりしました。リーダーの「今日の目標はコルリの姿を見ることだ」の一言で、みんないっしょうけんめいに目と耳の神経を集中いたしました。さすがは聞こえど、ついに目では確認できませんでしたが、しっかりと探聴の勉強ができ、楽しい一日でした。そして探鳥会は目で見るだけでなく、耳で確認することも重要なことを知りました。

埼玉に帰るころには、ひとまわり大きくなることを楽しみに、しっかり勉強してまいります。

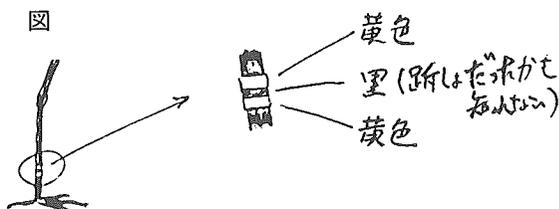


(鈴木高士)

チュウサギの跗しよに標識？  
石川敏男（春日部市）

5月28日（日）晴。PM1:20頃、春日部市西部浄水場南側水田に採餌中のサギ一群（コサギ4羽とチュウサギ1羽）を至近に見かけた。7倍ニコン双眼鏡でチュウサギを眺めていたところ、右脚下部（跗しよ）に標識らしきものを目にした（下図参照）。このへんのサギは、春日部市南2丁目のコロニーから飛来しているものと推察。

図



# 野鳥情報

**コシジロウミツバメ?** ◇5月11日午後4時30分～5時30分、本庄市の阪東大橋附近の利根川で増水した本流上空を上流に向かって黒褐色の鳥が1羽飛来。「パタパタパタ、スー」のくり返しで飛び、着水しました。上下尾筒の白が目立ち、くちばしは黒で先がちょっと曲った感じ。足も黒、飛び上る時に助走せず翼の上面に薄い帯ができました。尾はM型で切れがやや深く体の大きさ(コアジサシ位)に比べてWがものすごく長く先はとがっていた。当日から前日にかけて、低気圧及び前線が発達して大雨だったことから、迷行したコシジロウミツバメと判断した。写真は撮れなかった。5月12日にも同地で観察した(町田好一郎)。

**サギのコロニー** ◇5月20日、春日部市南町でゴイサギ、コサギが繁殖中。ゴイサギの幼鳥も何羽か観察する(石川敏男)。

**カイツブリ** ◇6月6日、坂戸市城山地区の高麗川でヒナ2羽が水面の浮巣の中で親鳥の羽根の中から首を出したり引っこめたり餌をねだったりしていた(増尾節子)。

**マガモ** ◇6月5日、戸田市道満 ♂♀各1羽。他にオナガガモ♂1羽♀2羽、ホシハジロ♀1羽、キンクロハジロ♂1羽(高橋達也)。

**カルガモ** ◇6月12日午後3時、浦和市三室の芝川でヒナ6羽。今年初めて見ました(小谷野勝栄)。

**シマアジ** ◇5月13日午前6時、本庄市の阪東大橋下流の県民釣り場で♂♀各1羽(町

田好一郎)。◇5月13日、浦和市秋ヶ瀬B区で♂1羽(石井 智)。

**バン** ◇5月27日、坂戸市の高麗川、多和田橋の県民釣り場で5月7日に抱卵中であったバンが5羽のヒナを連れてヨシの中を泳いでいた。すごくかわいかった(増尾節子)。

**オオバン** ◇5月15日、越谷市西新井の調整池で1羽(山部直喜)。

**ノスリ** ◇6月26日、川本町の荒川、明戸堰上空で1羽がトビと空中戦(市川計彦)。

**チョウゲンボウ** ◇6月20日、本庄市の阪東大橋下流で2羽がホバリング(市川計彦)。

**ケリ** ◇5月9日午前6時25分、本庄市の阪東大橋下流で1羽。鳴きながら群馬県側から飛んでくる(井上幹男)。◇6月25日、吉見町南吉見の水田で2羽。ムクドリ、カラス、人間にも攻撃する姿が見られた(市川計彦)。

**ハマシギ** ◇5月13日、浦和市秋ヶ瀬B区で31羽(石井 智)。

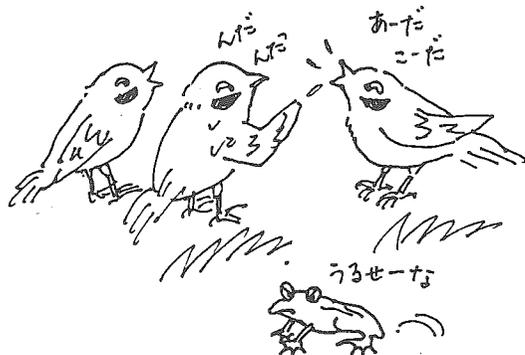
**サルハマシギ** ◇6月5日、戸田市道満の貯水池工事の干潟で夏羽1羽。7年前に大井野鳥公園ではぼ夏羽を観察したことがありましたが、身近で観察できて驚いています。スラットしていてきれいでした(高橋達也)。

**キアシシギ** ◇5月2日、本庄市の阪東大橋下流で2羽(井上幹男)。◇5月13日、戸田市の戸田橋付近の荒川で7羽(高橋達也)。

**チュウシャクシギ** ◇5月14日、越谷市恩間新田で12羽(神場真文)。

**アカエリヒレアシシギ** ◇5月16日、本庄市の阪東大橋下流で2羽(井上幹男)。6月12日、同所で♀1羽(市川計彦)。

**ツバメチドリ** ◇5月6日、本庄市の阪東大橋下流で2羽。5月30日、同所で8羽(井上幹夫)。◇6月1日午後4時30分、本庄市の阪東大橋下流の30m×50m位の砂利だけの中州で成鳥4羽、幼鳥3羽。幼鳥はすでに中州上空だけが飛び回っている。時々砂利の上に舞い降りて親鳥から餌をもらっていた。他にヒナも数羽いると思われる。また抱卵中の成鳥も見られるので今後何羽かのヒナの誕生も期待される(町田好一郎)。



カモメ? ◇4月18日、本庄市の阪東大橋下流で2羽。中州で休んでいた。少し距離があったが、くちばしと足が黄色でそばにいたヒドリガモよりやや小さいことなどからカモメと判断した(井上幹男)。

カッコウ ◇5月14日、熊谷市西別府の自宅近くで鳴く(諏訪隆久)。

ホトトギス ◇5月26日早朝、浦和市皇山町の自宅で鳴き声を聞く。5月28日午前1時にも鳴き声を聞く。どちらも飛びながら鳴いていたようだ(星崎杉彦)。

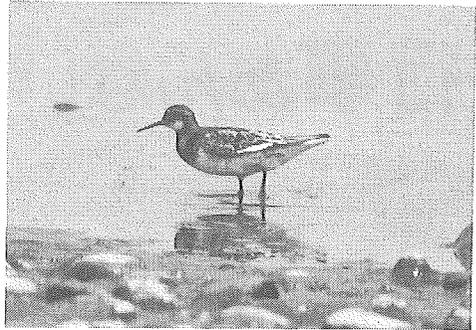
コミミズク ◇5月2日午前9時、本庄市の阪東大橋下流で1羽。カラスに追われ飛び回る(井上幹男)。

アオバズク ◇5月10日、熊谷市西別府の自宅で鳴き声を聞く(諏訪隆久)。◇5月中旬、寄居町玉淀で電線に1羽(逸見知代)。◇5月29日、寄居町の宗像神社で1羽(田口浩司)。◇5月31日午後8時、浦和市中尾の自宅近くの屋敷林で鳴く(草間和子)。

ヤマセミ ◇6月6日、坂戸市城山地区の高麗川で幼鳥1羽が親鳥2羽と水面上に出た木にとまっていた(増尾節子)。

カワセミ ◇浦和市の白幡沼での観察記録。6月14日、巣穴発見。オスだけが近くの水辺にいて、餌をとっても運ぶことなく自分で食べる。おそらくメスが巣穴の中で抱卵中と思われる。6月30日、メスが巣穴の近くに出ていて、オスが運んでくる餌を受け取り巣穴の中に。孵化したようだ。7月4日、巣穴の入口が少し崩れ、蛇がのぞいている。近くにカワセミの姿見られず。残念でした(海老原美夫)。

アオゲラ ◇4月初旬、新座市片山の檜の木に穴をほり始める。6月14日、ヒナがいることに気づく(滝島正善)。



アカエリヒレアシシギ(市川計彦)

アカハラ ◇5月6日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で1羽(石井 智)。

ツグミ ◇5月21日、浦和市秋ヶ瀬C区で1羽(石井 智)。

キビタキ ◇5月1日、戸田市の戸田公園で♀1羽(高橋達也)。

コヨシキリ ◇5月13日午前7時20分、本庄市の阪東大橋下流で1羽。アシの小枝で羽根を休めていたが、オオヨシキリに追いてられる。◇5月17日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で2羽(高橋達也)。

コメボソムシクイ ◇5月22日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で1羽(石井 智)。◇6月14日、浦和市の白幡沼で1羽(海老原美夫)。

ホオアカ ◇6月17日、日高町の巾着田で巣立って間もないと思われる幼鳥3羽とつがいらしき成鳥2羽(市川計彦)。

イカル ◇6月4日、新座市の平林寺で1羽(藤原寛治)。6月25日、所沢市下富で1羽(藤原寛治)。

シメ ◇5月6日、本庄市の阪東大橋下流で20~30羽(井上幹男)。

カケス ◇5月2日午前7時、本庄市の阪東大橋下流で15羽、群馬県側へ飛んで行く(井上幹男)。

表紙の写真

バードフォトコンテスト入選作

オオヨシキリ(ヒタキ科ウグイス亜科)

昭和63年7月8日、本庄市阪東大橋下流の利根川河原で撮影しました。

ソングポストで楽しそうにさえずるオオヨシキリの若鳥です。

日が落ちる頃だったので、弱めにストロボ

を同調させて、バックを整理し、キャッチライトで目に生き生きした表情を出してみました

(写真と文・町田好一郎=本庄市)

# 行事あんない



## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月13日（日）

集合：午前9時20分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:00発→大麻生9:10着 / 秩父鉄道寄居8:52発→大麻生9:10着

解散：午後1時ごろ

担当：諏訪隆久、林滋、岡安征也、町田好一郎。

見どころ：新支部発足以来、続いている探鳥会。地元幹事が若さで今年も頑張ります。皆さんも応援してください。合言葉は「継統は力なり」。

## 大滝村親子キャンプ教室（要予約）

期日：8月19日（土）～20日（日）

集合：19日正午 秩父鉄道三峰口駅前

交通：秩父鉄道熊谷10:10発→御花畑11:19発→三峰口11:44着

会場：大滝村・槌打キャンプ場

解散：20日午後2時ごろ

共催：秩父愛鳥会

参加費：19才以上6千円、18才以下5千円

申込み：支部事務局または秩父愛鳥会の宮崎会長宅（☎ ）まで。

定員：先着50名。子供だけ、もしくは大人だけの申込みもOK。

案内：豊かな自然の中で、親子のふれあいのひととき。河原で、水遊びにキャンプファイヤー。もちろん探鳥や自然観察もあ

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。探鳥会に参加される場合、持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。参加費は、一般＝100円、会員及び中学生以下＝50円。受付は探鳥会当日です。特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。小雨決行です。

夢中になりすぎて、鳥を驚かしたり、植物を荒らしたりしないように。タバコの吸い殻やゴミを散らかすなんて事はもってのほか。いつもフィールドマナーをお忘れなく。

身支度ができたら、さあ出発！

って、今年の夏休みの思い出はこれでパーフェクト。希望者には巣箱・餌台作りのコーナーもありますよ（材料費500円）。

注意：19日の昼食は各自用意してください。

## 浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：8月20日（日）

集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または午前9時 浦和市立郷土博物館前（北浦和駅の場合、その後バス利用）

解散：午後1時ごろ

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、乗田実、手塚正義

見どころ：草いきれに包まれて、軽い散策。暑い日が続くけれど、よく見れば、鳥や野草の装いはそろそろ夏から秋へ…。身近な自然の中に秋の気配を探しましょう。



（榎本みち子）

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：8月26日（土） 午後1時～3時ごろ  
会場：支部事務局（浦和駅西口を出て左側、三菱信託銀行と日建ハウスの間をって進み、信号ひとつ渡ってY字路の右、茶色5階建マンションの1階＝徒歩約5分＝住所は12ページ下欄のとおり）  
案内：事務局はボランティアでいっぱい。会員の善意だけで支えられている我が支部の姿を、あなたの目で確認してみませんか。

### 野鳥写真クラブ定例会

とき：8月26日（土） 午後3時ごろ～5時  
会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ  
案内：暑い日中は野鳥もなかなか姿を見せないもの。こんなときはスライドで探鳥というはどうでしょう。

### 千葉県・谷津干潟探鳥会

期日：8月27日（日）  
集合：午前9時10分 京葉線南船橋駅前  
交通：武蔵野線北朝霞8:04発→武蔵浦和8:11→南浦和8:14→南越谷8:25→南船橋9:01着  
解散：午後2時ごろ  
共催：関東地区各支部の合同探鳥会  
担当：海老原美夫、杉本秀樹  
見どころ：シギ・チドリがわんさか、見る人もわんさか。埼玉ではあまり馴染みのないシギ・チを堪能し、ついでに他支部のウォッチャーも観察しちゃいましょう。

### 嵐山町 菅谷館跡探鳥会

期日：8月27日（日）  
集合：午前9時 東武東上線武蔵嵐山駅前  
交通：東武東上線川越8:20発特急→東松山8:41→武蔵嵐山8:53着 / 東武東上線寄居8:24発、小川町駅で8:45発急行乗り継ぎ、武蔵嵐山8:53着  
解散：午後1時ごろ  
担当：諏訪隆久、林滋、町田好一郎

見どころ：旅の途中のシギ君、見つけた。照りつける日射しは夏そのものだけど、瀬にたたずむシギの姿に季節のうつろいを実感。

探鳥会で会おうね？



（榎本みち子）

### 第6回初級リーダー研修会

ご存知のとおり、我が埼玉県支部には専従の職員がいるわけではありません。支部長をはじめとする役員も、探鳥会のリーダーや『しらこぼと』の袋づめも、みんなボランティア。いわば会員一人ひとりの善意によって、我が支部は運営されているのです。

ところで、今年も下記の要領で初級リーダー研修会が行なわれます。支部の活動を支えるボランティアに、あなたも加わっていただけませんか。参加資格は支部会員であること。必要なのは、鳥の識別能力ではなくて熱意です。ほんのちょっとした勇気で、あなたのバード・ライフはより充実したものに変わっていきましょう。

記

とき：9月3日（日） 午前9時～午後4時  
場所：浦和市民会館  
申込み：事務局または中島普及部長（☎〇〇〇〇）まで。

---

9月9日（土）	谷津干潟探鳥会
9月10日（日）	熊谷市・大麻生探鳥会
9月15日（金・祝）	シギ・チ類県内一斉調査（秋ヶ瀬・大麻生明戸・阪東大橋 その他）
9月17日（日）	浦和市・三室地区探鳥会
9月23日（土・祝）	寄居町・鐘撞堂山探鳥会
9月24日（日）	本庄市・阪東大橋探鳥会

# 行事報告

5月13日(土) 栃木県 篤川と千本松

人 2人 天気 小雨 鳥 コサギ カルガモ トビ チョウゲンボウ キジ イカルチドリ キアシシギ オオジシギ コアジサシ キジバト カッコウ ヒメアマツバメ アマツバメ ヤマセミ カワセミ アカゲラ ヒバリ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ サンショウクイ ヒヨドリ クロツグミ ウグイス キクイタダキ キビタキ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ イカル スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(36種) 連休疲れか、はたまた小雨のためか、リーダー一人、参加者一人。でも、鳥はいろいろ。チョウゲンボウのひなが大きくなっていて、父さんと母さんは大忙し。どの世界も親は大変。

ビ キジバト ジュウイチ カッコウ ツツドリ ホトトギス フクロウ ヨタカ ヒメアマツバメ アマツバメ アオゲラ コゲラ イワツバメ キセキレイ ビンズイ ヒヨドリ カワガラス ミソサザイ コルリ マミジロ トラツグミ アカハラ ヤブサメ ウグイス キビタキ オオルリ コサメビタキ エナガ コガラ ヒガラ シジュウカラ ゴジュウカラ メジロ ホオジロ ノジコ アオジ イカル スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(41種) ホトトギスを皮切りに、ジュウイチ、マミジロ、コルリ、ミソサザイと鳴き出し、探鳥会もスタート。コルリ、オオルリが何回も現われ、ノジコが見られるという幸運にも恵まれ、大いに盛り上がった。

5月14日(日) 熊谷市 大麻生

人 82人 天気 晴 鳥 コサギ カルガモ トビ チョウゲンボウ コジュケイ キジ コチドリ シロチドリ キョウジョシギ キアシシギ イソシギ コアジサシ キジバト カッコウ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(33種) 下羽生子供会から43人、本部の塚本常務理事の飛び入りもあり、全部で82人。初夏を思わせる天気の中、カッコウの鳴き声を聞いた。増水していたが、河原には多くのシギ・チドリが。初めてキョウジョシギを見た人は、その派手な模様から狂った女を想像したらしい。子供会を担当したリーダーの皆様、大変ご苦労様でした。

5月21日(日) 浦和市 三室地区

人 42人 天気 小雨 鳥 コサギ カルガモ コジュケイ キジ コチドリ キアシシギ イソシギ キジバト カッコウ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(27種) 5月7日と同じコースとした。今年初めてカッコウの鳴き声が斜面林にこだまし、芝川にはキアシシギが姿を見せ、夏の訪れを知らせてくれた。

5月20日(土、夜行) ~ 21日(日) 長野県

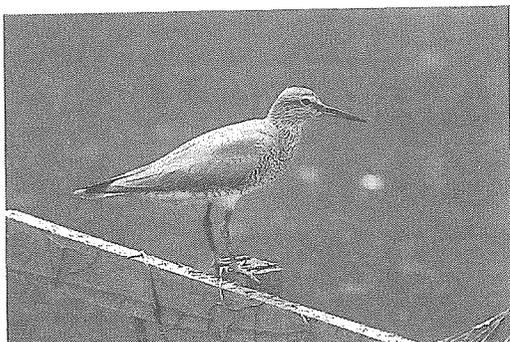
軽井沢 人 27人 天気 曇一時雨 鳥 ト

5月27日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

がんばってくれた人 岩波勇一、海老原教子、海老原美夫、角田真喜子、楠見文子、小山啓子、小山則雄、鈴木秀男、鈴木美恵子、登坂久雄、中里隆介、中村重勝、藤野富代、宮坂亨、遊佐京子、渡辺敦、渡辺孝章(17人)

## 5月27日(土) 写真クラブ定例会

集まった人 20人 作品発表した人 7人



キアシシギ (佐藤昌人・与野市)

## 5月28日(日)~29日(月) 両神村 両神山

人 11人 天気 28日は晴時々曇一時雷と雹のち霧と雨、夜の間は霧時々雨、29日は霧のち曇 鳥 ノスリ キジバト アオバト ジュウイチ ツツドリ ホトトギス アオゲラ アカゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ カワガラス ミソサザイ コマドリ コルリ ルリビタキ マミジロ ヤブサメ ウグイス メボソムシクイ エゾムシクイ センダイムシクイ オオルリ コサメビタキ コゲラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒフ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (40種) この天気が一日でわかった人はエライ。雹の直径は6~7mm、痛いしビショビショ濡れるし、しかも、お目当てのコノハズクが今年も鳴かなかったのだ。山小屋のおやじがニタニタしながら「もう、海老原さんと来ない方がいいよ」だって。グスン。でも、けなげな中年は、来年こそはと早くも決心したのだ。

## 5月28日(日) 上尾市 丸山公園

人 27人 天気 晴 鳥 カイツブリ コサギ カルガモ コジュケイ キジ バン キジバト カッコウ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ

オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (25種) 風薫る新緑の中、荒川あたりをのんびり散歩。お目当てのカワセミ君には逢えず、初めから終りまでキジ&キジ。

## 6月10日(土)~11日(日) 栃木県奥日光

人 24人 天気 10日雨、11日晴 鳥 キンクロハジロ マガモ トビ オオジシギ キジバト カッコウ ホトトギス フクロウ ヨタカ ハリオアマツバメ アマツバメ アカゲラ コゲラ イワツバメ キセキレイ セグロセキレイ モズ カワガラス ミソサザイ コマドリ コルリ ノビタキ マミジロ アカハラ ヤブサメ ウグイス メボソムシクイ エゾムシクイ センダイムシクイ キクイタダキ キビタキ サメビタキ コサメビタキ エナガ コガラ ヒガラ シジュウカラ ゴジュウカラ ホオジロ ホオアカ アオジ イカル ニュウナイスズメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (48種) 初日、湯ノ湖付近ではエゾビタキ、コサメビタキ、キビタキが同じ木から盛んにフライングキャッチ。二日目は、戦場ヶ原で間近をジェット飛行したハリオアマツバメ3羽がハイライト。

## 参加者の声 初めて参加した奥日光の旅 増形勝子 (川口市)

久しぶりに家族から離れて旅をする。うれしさと、不安をもって家を出ましたが、集合場所に着いてみると、リーダーの方々始め皆様が親切で、安心しました。双眼鏡の合わせ方から始まり、初めて聞くような鳥の名前、そして面白い鳴き方まで、手トリ足トリ。

夜の散歩で息をひそめて聞いたヨタカ、フクロウ。夜明けのホトトギス、コマドリ等たくさんさんのコーラス。日の出前の薄いピンクの雲とそれが湖に映ったさま。初めの不安は、一つ一つ感動に替えられてしまったようです。望遠鏡をのぞかせて頂いたときの素晴らしいこと。思わず、「かわいい、キレイ」。この一瞬が忘れられず、鳥にトリつかれたようです。皆様、本当に有難うございました。



### 本部の会員規程が一部変更

- ① 複数支部に所属する会員の会費額が、2つ目以降の支部については、その所属支部会費分のみとなりました。つまり、例えば既にほかの支部に入会している会員が、埼玉県支部にも入会したいという時、今まではその分の会費として2,500円必要だったのですが、今後は2,000円ですむということです。
- ② 今まで、本部だけに入会していて、どこかの支部にも属していなかった会員を「準会員」と呼んでいましたが、その名称を「一般会員」と変更しました。

### バードソン支援者たち

バードソンの支援グループは次の方々でした。ご苦労さまでした。

総合責任者・諏訪隆久、運転手・伊藤芳晴、各地点での応援や伴走など・榎本秀和、海老原美夫、杉本秀樹、田口浩司、手塚正義、登坂久雄、林滋、福井恒人、町田好一郎。

### 第2回バードフォトコンテスト

前月号に付録としてお送りしましたが、もう1度あらためてお知らせします。

目的：県内に生息する野鳥の写真を募集して11月のパネル展などに活用します。

募集期間：9月10日まで

応募資格と応募方法：支部会員ならどなたでも、1人何点でも可。キャビネサイズのプリントにネガとその写真についての200字くらいの短文、撮影年月日・場所・鳥種名・撮影データを添えて、事務局までお送りください。

取り扱い：さまざまな支部活動に1年間使用させていただき、1年たちましたらネガはお返しします。

ご注意：マナーに反して撮影された写真は受付けません。野鳥と周辺に影響を与えないように、最大限の配慮をお願いします。

### ありがとうございます

次の方々からご寄付をいただきました。

伊藤芳晴 4,000円、鈴木忠雄 50,000円、鈴木秀男 3,000円、積水ハウス(株) 50,000円、高橋夕香子 4,000円、藤岡康晃=ゴミ箱、元田英明 100円。(50音順、敬称略)

### 会員数は

7月20日現在1,084人です。

### 活動報告

- 6月7日 事業部帳簿と在庫品整理(草間)。
- 6月12日 熊谷駅コンコースでのバードソン関連写真展、撤去作業(海老原)。
- 6月18日 役員会議(司会：諏訪隆久、各部の報告、バードソン報告、総会準備、会費値上げ見送りについて、フォトコンテスト、その他)。
- 6月18、19日 バードソン個人スポンサー集計、連絡とご寄付送金のお願い発送。
- 6月26日 役員会議(司会：海老原美夫、今年度役員、顧問委嘱、その他)。
- 6月26日 7月号校正(大武、西城戸、森本)。



依頼を忘れて、またまた自分で編集後記を書くはめになってしまいました。原因は、編集会議をずっとお休みしているからです。事務所もあることだし、近々、再開予定です。

読者の声の原稿大募集。べつに鳥に関係したことに限りません。自由に、気ままに投稿してください。さし絵もお願いします。

三芳町のサンコウチョウご夫妻様、今年はどこでご逗留されたのでしょうか。ぜひ、ご住所をご連絡ください。(山部直喜)

『しらこぼと』1989年8月号(第63号)

定価 100円(会費に含まれます)

発行人 鈴木忠雄 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL・FAX 048(832)4062

〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130

印刷 望月印刷株式会社

(本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)